令和６年度成田市学力調査の結果について【小学５年生】

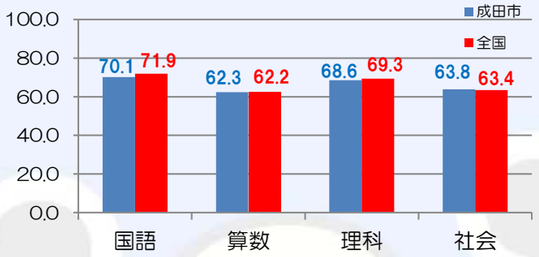
【成田市学力調査・実施概要】

１　実施日　　令和６年１２月４日・５日

２　実施教科　　国語、算数、理科、社会

なお、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の一部分であることに留意願います。

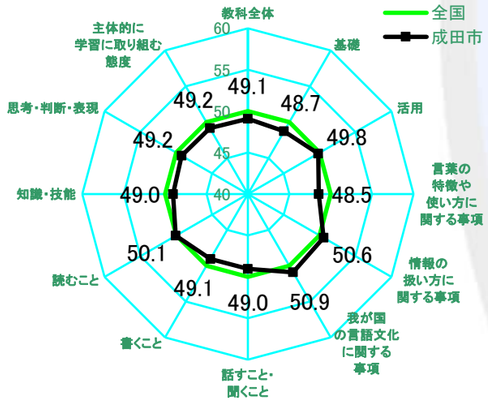
１　各教科の平均正答率



※本調査における全国（国）とは、国内の全小中学校のうち、本市と同じ問題を実施した小中学校を対象としています。

２　教科ごとの状況

（１）国語（全国の正答率を５０とした相対値）



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出　題　内　容	市(%)	国(%)
５（３）	目的に応じて、文章の情報を整理している。〈説明文の内容を読み取る〉	44.3	37.8
６（１）	表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。〈報告文を書く〉	85.5	82.4

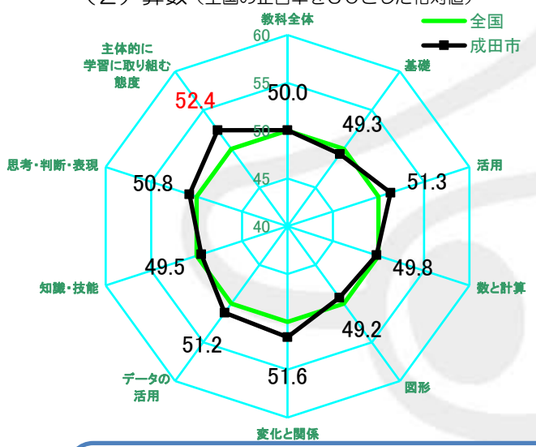
【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出　題　内　容	市(%)	国(%)
２（２）②	第４学年に配当されている漢字を正しく書いている。〈漢字を書く〉	47.4	57.9
７②④	段落の役割について理解し、２段落構成で文章を書いている。	57.9	65.6
	自分の意見を明確にして書いている。〈文章を書く〉	54.0	61.4

【国語・力を入れたい学習】

文章を書く活動では、段落の役割（条件）を理解し、事実と意見を区別して書くと、自分の考えがより伝わりやすくなります。漢字の学習では、その漢字を使った熟語を練習すると効果的です。知っている言葉を増やすために、漢字辞典で調べたり、実際に話や文章の中で使ってみたりすると、さらに記憶に残ります。

（２）算数（全国の正答率を５０とした相対値）



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出　題　内　容	市(%)	国(%)
１４（１）	既習の四角形について、対角線で分割した三角形を合同の観点でとらえ直している。〈合同〉	59.8	51.1
１６（１）	値に０があり、答えが小数になる分離量の平均を求めることができる。〈平均〉	74.8	66.2

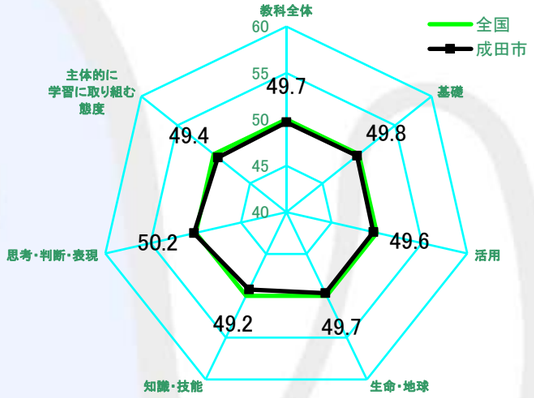
【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出　題　内　容	市(%)	国(%)
２（１）	小数の乗法でも分配法則が成り立つことを理解している。〈小数のかけ算・わり算〉	67.2	89.7
１０（１）	１人あたりのたたみの数やたたみ１枚あたりの人数を求めて、どちらの部屋が混んでいるのかを説明している。〈平均〉	62.7	70.1

【算数・力を入れたい学習】

小数は、分母が１０，１００などの分数で表すことができます。小数点の位置に注意して、正しく小数を分数の形に直す練習をしましょう。図形の問題では、三角形や四角形などの図形のとくちょうに目をつけて角の大きさを求めてみよう。

（３）理科（全国の正答率を５０とした相対値）



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出　題　内　容	市(%)	国(%)
１（１）	雲画像を参考にして、アメダスの雨量情報を日付の順に並べることができる。〈天気の変化〉	66.6	56.9
７（２）	植物がよく成長するための条件を理解している。〈植物の発芽と成長〉	91.0	87.8

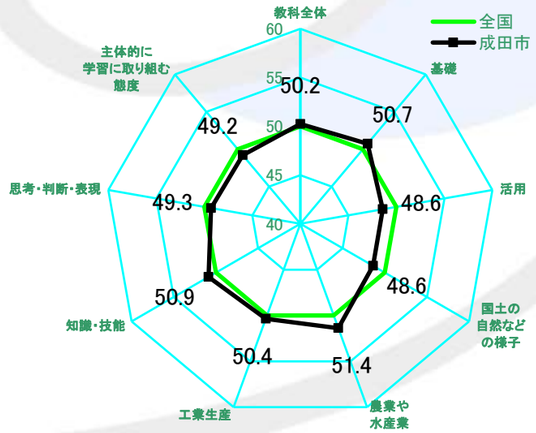
【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出　題　内　容	市(%)	国(%)
２（１）	メダカのめすとおすの違いと卵を産まない理由を理解している。〈魚のたんじょう〉	74.3	84.5
３（２）	インゲンマメの種子と発芽後の子葉のヨウ素デンプン反応を理解している。〈植物の発芽と成長〉	77.6	89.7

【理科・力を入れたい学習】

「どんな違いがあるか」を改めて整理し「メダカのオスとメスは何が違うのか」など、学んだことを自分で整理し直すと理解が深まります。日常生活の中に、理科の学習内容がつながっていることを意識できると、理科の楽しさが膨らむでしょう。

（４）社会（全国の正答率を５０とした相対値）



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出　題　内　容	市(%)	国(%)
６（１）	日本の食料生産について、資料を判断している。〈日本の食料生産〉	79.6	73.0
７（１）	日本の主な工業地帯・工業地域の特色について、資料を読み取っている。〈日本の工業生産〉	66.6	57.6

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出　題　内　容	市(%)	国(%)
１（２）	日本の東端の島（南鳥島）について理解している。〈世界の中の国土〉	56.9	64.1
１（３）②	日本の気候の特色について、雨温図を判断している。〈日本の国土と人々のくらし〉	29.0	26.4

【社会・力を入れたい学習】

日本の国土の位置や日本の回りの国々の位置関係を理解し、日本の国土の特色についても説明できるようにしましょう。国土の気候の特色は季節によってどのような変化があるのかに着目して、気温と降水量のグラフを見比べながら日本の気候の特色について調べてみましょう。